



南台 校長室だより

令和3年度

No. 99

～HPにはカラー版を掲載しています～

改めて、授業力の向上とその支援

学校生活の中で最も長い時間は、「授業」です。その授業の充実のために、わたしたち教職員はよりよい授業（授業改善）を目指して、授業力の向上に取り組んでいます。いえ、取り組まなければなりません。授業力とは以下のような要素があるとされています。

教材解釈・教材開発 指導技術（授業展開） 児童・生徒理解
統率力 使命感、熱意、感性 「指導と評価の計画」の作成・改善

授業力と言うと指導技術（授業展開）と思われがちですが、わたしは使命感や熱意、そして児童理解などは大変重要なことだと考えています。

この授業力向上に向けては校内校外で様々な研修の機会を設けてきましたが、改めて9月より若手教員を中心にその支援を強くしました。各々のよさや課題に応じ、学校行事（運動会等）の実施計画・運営に力点を置いたり、先輩と共に教材研究をして授業を公開したり、チームティーチングで授業にかかわっての研修（TT授業力向上研修）を進めたりしています。

また、指導力向上と児童の育成を直接結び付ける学校の校内研究では、そのテーマを「豊かにかかわり合い、よさや違いが分かり、認め合うことのできる児童の育成」を本年度も継続しています。

その上で「自ら進んで考える子になって欲しい」という願いから「主体性」を取り上げ、iPadの導入もあり「ICT活用」も含めて「主体性を育むICTの可能性を求めて」を本年度のキーワードとして全教職員で研究を進め、学び合っています。

先日、6年道徳科の授業研究がありました。ICT画面を活用し「星野くんの二るい打」という教材を読み聞かせし、「きまりの意味（規則の尊重）」について考え、話し合いました。話し合いの中では新たにiPadにインストールされた「コラボノート」というアプリケーションを使って互いの考えを交流しました。全体の話し合いでは普段使っている黒板を活用し、子供たちから次々と話される考えを子供たちと共に黒板に記していきました。

授業では、「チームのきまり」の意味を考える中、先生が発言を受け止め、悩みながら、「どうまとめようか？」と投げかけると子供たちも悩む中、ある子が「信頼が深まる」と話し、それを受け「一致団結」ということが上げられ、ねらいが達成されていきました。このねらいが達成する瞬間を全教職員で参観し、共有することで全体の授業力も高まっていきます。この学習はICT一辺倒でなく、毎日積み上げている学級の話合い活動の成果も垣間見えました。正に「ICTの可能性を求めて」ということです。学習のどのような場面でのICT（iPadも含め）の活用が有効なのかをこれからも探っていきます。

<TT授業力向上研修>

<ICTを活用した授業改善>



土曜日は第5回運動会です。コロナ禍でも、子供たちは一生懸命を忘れず競技したいと思います。様々な制限もありますが、ご支援をよろしくお願いします。

通学路バリアフリーマップづくり体験講座報告（裏面）をご覧ください。

南台小学校 通学路のバリアフリーマップ &あなたの街の安心安全マップづくり体験講座 報告

NPO法人リーブウィズドリーム
理事長金子氏による「バリアフリーとは？」
「車いすの使い方」の講義、(株)エブリワンズ
ロケーションの大矢氏から、障害のある家族と
の日々の暮らしについての話をうかがった。そ
の後、3チームに分かれて通学路の調査に出発。

2020年10月10日開催
南台小学校地域コミュニティ室
参加者 児童5人
地域6人
サポーターの会4人
講師1人

参加者の意見から



- ・くるまいすにのっている人もたいへんだけど、おす人もたいへんなのがわかりました
- ・日ごろ何気なく歩いたり、車で通ったりする道路に危険個所が多いことを改めて理解しました。



学校、町会、民生児童委員、NPO、ボランティア、様々な立場で、地域の子どもたちを見守り、応援していく大切さを感じた1日となった。

